

神奈川県立入試問題 1995 (H07)

問 1. 次の計算をなさい。

(ア) $-7 - (-3)$

(イ) $-9 + 4 \times (2 - 5)$

(ウ) $\frac{3}{5} - \frac{1}{2}$

(エ) $(-3a)^2 \times ab^2$

(オ) $\frac{3x+4}{6} - \frac{x+4}{3}$

(カ) $\frac{18}{\sqrt{3}} + \sqrt{27}$

(キ) $(x+4)^2 - x(x-4)$

問 2. 次の問いに答えなさい。

(ア) $(x-3)^2 - 25$ を因数分解しなさい。

(イ) 2次方程式 $2x^2 - 5x + 1 = 0$ を解きなさい。

(ウ) 不等式 $\frac{x+5}{4} - \frac{x}{2} > x$ を解きなさい。

(エ) 252 に自然数 a をかけて、その結果の数がある整数の 2 乗になるようにしたい。
このような自然数 a のうちで、最も小さいものを求めなさい。

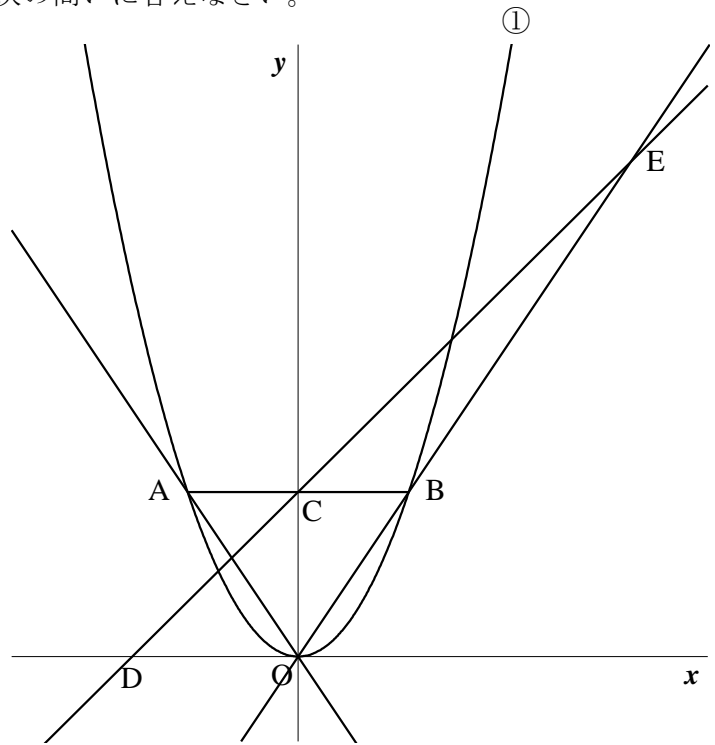
(オ) 関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ について、 x の値が 2 から 4 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

問 3. 図において、曲線①は、 y が x の 2 乗に比例する関数のグラフである。2 点 A, B はともに曲線①上の点であり、点 A の座標は $(-2, 3)$ で線分 AB は x 軸上に平行である。また、点 C は線分 AB と y 軸との交点であり、原点を O とするとき、点 D は $OC = OD$ をみたす y 軸上の点で、その x 座標は負である。このとき、次の問いに答えなさい。

(ア) 曲線①の式を求めなさい。

(イ) 直線 OA の式を求めなさい。

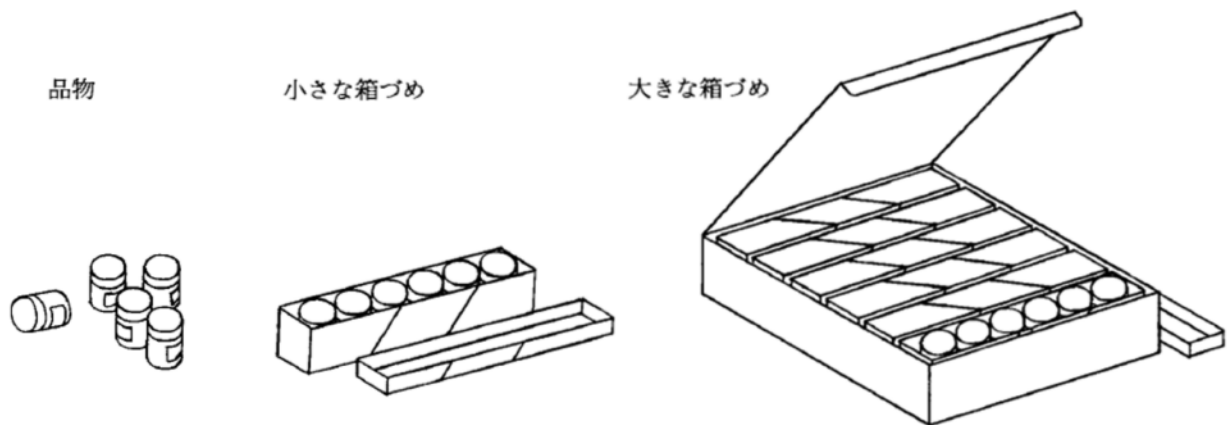
(ウ) 2 直線 OB, DC の交点 E の座標を求めなさい。



問 4. ある品物を同じ大きさの箱に、同じ数ずつ詰め、いくらかの「箱づめ」をつくる。そして、「箱づめ」の数が 1 つの箱につめられている品物の数と等しくなったら、それらの「箱づめ」をさらに大きな箱にいれ、「大きな箱づめ」つくることにする。

例

下の図は、ある数の品物を小さな箱に 6 個ずつ詰めるとき、「小さな箱づめ」を 6 つ入れた「大きな箱づめ」が 1 つと、「小さな箱づめ」が 1 つでき、品物が 5 個あまった状態を示したものである。



箱の大きさを変え、このような「箱づめ」をつくる時、次の問いに答えなさい。ただし、小さな箱につめる品物の個数は 2 個以上とする。

(ア) 小さな箱につめる品物の数を 5 個にしたら、「大きな箱づめ」が 3 つと「小さな箱づめ」が 2 つでき、品物が 3 個あまった。品物は全部で何個あったかを答えなさい。

(イ) 198 個の品物を箱につめるとき、「大きな箱づめ」が 2 つと「小さな箱づめ」が 4 つでき、あまりがでないようにするには、小さな箱につめる品物の個数をいくつにすればよいかをこたえなさい。

問 5. ボタンを押すたびに色の異なる電球が点灯する装置 A, B がある。A は青、赤の順にくり返して電球が点灯し、B は青、黄、赤の順にくり返して電球が点灯する。A, B ともに青の電球が点灯しているとき、大、小 2 つのさいころを同時に投げ、大きいさいころの出た目の数と同じ回数だけ A のボタンを、小さいさいころの出た目の数と同じ回数だけ B のボタンを押すことにする。

例

大きいさいころの出た目の数が 2、小さいさいころの出た目の数が 4 のとき

A : 青 → 赤 → 青	B : 青 → 黄 → 赤 → 青 → 黄
1 回目 2 回目	1 回目 2 回目 3 回目 4 回目

となり、A は青の電球が点灯し、B は黄の電球が点灯する。

いま、A, B ともに青の電球が点灯している状態で、大、小 2 つのさいころを同時に投げるとき、次の問いに答えなさい。

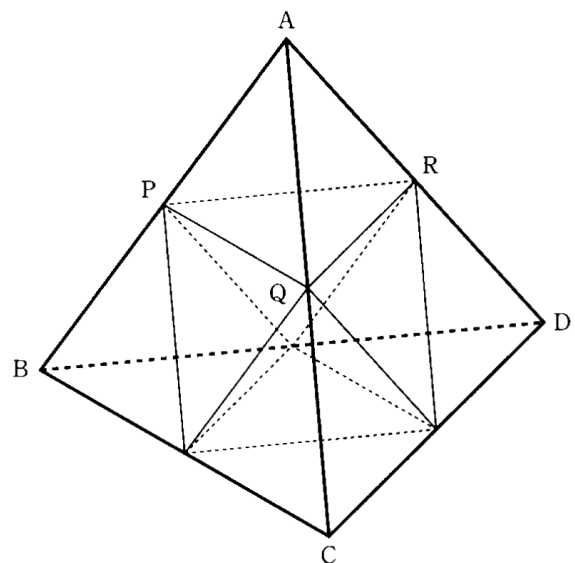
(ア) A, B ともに赤の電球が点灯する確率を求めなさい。

(イ) A, B に異なる色の電球が点灯する確率を求めなさい。

問 6. 正四面体 ABCD の頂点 A に集まる 3 つの辺 AB, AC, AD の中点をそれぞれ P, Q, R とし、3 点 P, Q, R を通る平面でこの正四面体を切る。同じようにこの正四面体を、頂点 B に集まる 3 つの辺の中点を通る平面で切り、さらに頂点 C, D にそれぞれ集まる 3 つの辺の中点を通る平面で切る。このとき、頂点 A, B, C, D をふくむ部分をすべて取り除いてできる立体について、次の問いに答えなさい。

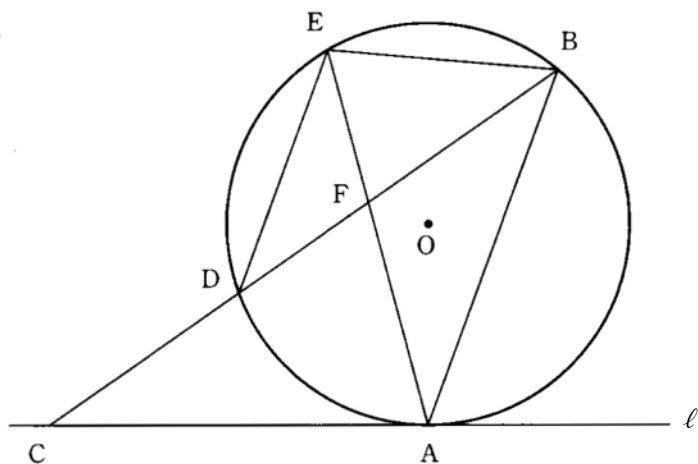
(ア) この立体の体積は、もとの正四面体 ABCD の体積の何分のいくつになるかを、最も簡単な分数で答えなさい。

(イ) もとの正四面体 ABCD の 1 辺の長さを 8 cm とするとき、この立体の表面積を求めなさい。



問7. 右の図のように、円 O があり、直線 ℓ と点 A で接している。いま、円 O の直径でない弦 AB に対し、 $AB = AC$ で $\angle BAC$ が鈍角になる点 C を直線 ℓ 上にとる。

また、線分 BC と円 O との交点を D とし円周上に $AB \parallel DE$ となる点 E をとる。弦 BD と弦 AE の交点を F とするとき、次の問いに答えなさい。



(ア) 三角形 ABE と三角形 CAF は合同であることを証明しなさい。

(イ) $\angle FCA = 35^\circ$ のとき、 $\angle ABE$ の大きさを求めなさい。

解答・解説

問 1.

(ア) -4 (イ) -21 (ウ) $\frac{1}{10}$ (エ) $9a^3b^2$

(オ) $\frac{x-4}{6}$ (カ) $9\sqrt{3}$ (キ) $12x + 16$

問 2.

(ア) $(x-3)^2 - 25 = (x-3+5)(x-3-5) = (x+2)(x-8)$

(イ) $2x^2 - 5x + 1 = 0$ $x = \frac{5 \pm \sqrt{25-8}}{4}$ $x = \frac{5 \pm \sqrt{17}}{4}$

(ウ) $\frac{x+5}{4} - \frac{x}{2} > x$ 両辺 $\times 4$ $x+5-2x > 4x$ $-5x > -5$ $x < 1$

(エ) $252 = 2^2 \times 3^2 \times 7$ $a = 7$

(オ) $-\frac{1}{2} \times (2+4) = -3$

問 3.

(ア) **二次関数 $y = ax^2$ の式を求める** → 通る点の座標を代入して a を求める

点 A $(-2, 3)$ を $y = ax^2$ に代入すると $3 = 4a$ $a = \frac{3}{4}$ Ans. $y = \frac{3}{4}x^2$

(イ) **原点を通る直線の式を求める** → 傾きを求めれば良い

点 A $(-2, 3)$ を通るので 2 コイッテ 3 サガル ので 傾きは $-\frac{3}{2}$ Ans. $y = -\frac{3}{2}x$

(ウ) **2 直線の交点の座標を求める** → 連立方程式で解けば良い (置換法)

OC = DC より DC の式は $y = x + 3$ … ① OB の式は $y = \frac{3}{2}x$ … ②

置換法で $\frac{3}{2}x = x + 3$ 両辺に 2 をかけて $3x = 2x + 6$ $x = 6$

$x = 6$ を①か②に代入して $y = 9$ Ans. E $(6, 9)$

問 4.

(ア) $5^2 \times 3 + 5 \times 2 + 3 = 88$

(イ) $2m^2 + 4m = 198$ $2m^2 + 4m - 198 = 0$ $m^2 + 2m - 99 = 0$
($m+11$)($m-9$) = 0 $m = -11, 9$ Ans. 9個

問5.

		赤	青	赤	青	赤	青		
B	A	1	2	3	4	5	6	(1)○印	$\frac{1}{6}$
	黄	1							
赤	2	○		○		○		(2)○印と☆印以外	$\frac{2}{3}$
青	3		☆		☆		☆		
黄	4								
赤	5	○		○		○			
青	6		☆		☆		☆		

問6.

(ア) 立体の体積を求める → 相似比の3乗を利用する

正四面体 APQR の正四面体 ABCD

相似比は 1 : 2 なので体積比は 1 : 8

正四面体 APQR と同じ体積が 4 つ切り取られるので残りは全体の $\frac{1}{2}$

(イ) 表面積を求める → 三平方の定理を使って長さを出します

1 辺が 4 cm の正三角形が 8 個ある

$$1 : 2 : \sqrt{3} \text{ より、高さは } 2\sqrt{3} \quad 4 \times 2\sqrt{3} \times \frac{1}{2} \times 8 = 32\sqrt{3} \quad 32\sqrt{3} \text{ cm}^2$$

問7.

(ア) △ABE と △CAF において

仮定より

$$AB = AC \quad \dots \text{ ①}$$

①より

$$\angle ABD = \angle FCA \quad \dots \text{ ②}$$

\widehat{BE} に対する円周角は等しいから

$$\angle BDE = \angle EAB \quad \dots \text{ ③}$$

AB // DE より錯角は等しいので

$$\angle ABD = \angle BDE \quad \dots \text{ ④}$$

②、③、④より

$$\angle EAB = \angle FCA \quad \dots \text{ ⑤}$$

直線 l は円 O の接線であるので

$$\angle ABE = \angle CAF \quad \dots \text{ ⑥}$$

①、⑤、⑥より一辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ABE \equiv \triangle CAF$$

(イ) (ア)より $\angle FCA = \angle ABD = \angle EAB = 35^\circ$

$$\angle CAF = 180^\circ - 35^\circ \times 3 = 75^\circ = \angle ABE$$

7年度 数 学

問	配	点	
問一	(ア)	- 4	(イ) -21 (ウ) $\frac{1}{10}$ (エ) $9a^3b^2$
	(オ)	$\frac{x-4}{6}$	(カ) $9\sqrt{3}$ (キ) $12x+16$
問二	(ア)	$(x+2)(x-8)$	(イ) $x = \frac{5 \pm \sqrt{17}}{4}$ (ウ) $x < 1$
	(エ)	$a = 7$	(オ) - 3
問三	(ア)	$y = \frac{3}{4}x^2$	(イ) $y = -\frac{3}{2}x$ (ウ) (6 , 9)
問四	(ア)	88 個	(イ) 9 個
問五	(ア)	$\frac{1}{6}$	(イ) $\frac{2}{3}$
問六	(ア)	$\frac{1}{2}$	(イ) $32\sqrt{3}$ cm ²
問七	<p>(証明) (例)</p> <p>△ABEと△CAFにおいて、 仮定より、$AB=CA$ ……① 接線と弦のつくる角の性質より、 $\angle ABE = \angle CAE$ よって、$\angle ABE = \angle CAF$ ……② 一方、$AB \parallel DE$より、錯角は等しいから、 $\angle BAE = \angle DEA$ ……③ 同じ弧\widehat{AD}に対する円周角は等しいから、 $\angle DEA = \angle DBA = \angle CBA$ ……④ 二等辺三角形の性質より、 $\angle CBA = \angle ACB = \angle ACF$ ……⑤ したがって、①、②、⑥より、1辺と その両端の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABE \equiv \triangle CAF$</p>		
	(イ)	75	度
計		50	点

・中間点及び許容範囲は、各学校で協議の上、適宜設けること。